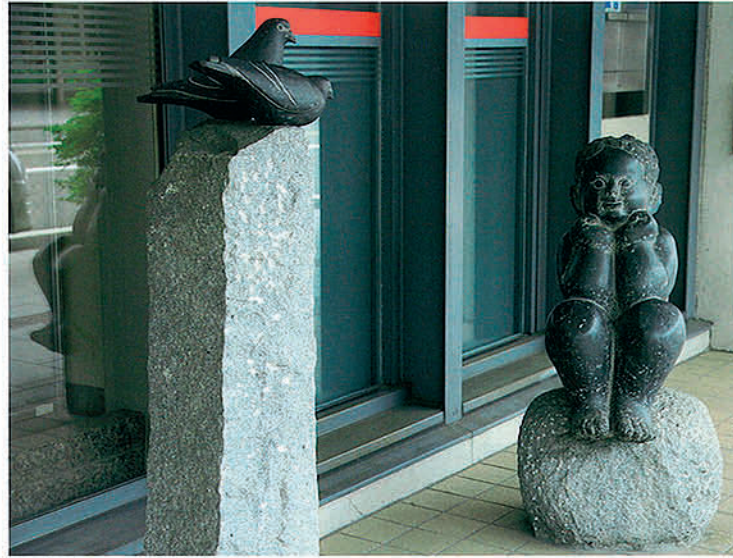


十日町石彫プロムナードの



左：野上公平《燃焔》1995 安山岩
右：青木三四郎《MEMORY》2000 花崗岩
写真提供：十日町石彫シンポジウム実行委員会

青木 三四郎
Sanshiro AOKI

野上 公平
Kohe NOGAMI

7月14日(土) 14:00より

青木三四郎さんと

藤巻秀正さんの

(彫刻家・元 十日町石彫シンポジウムコーディネーター)

ギャラリートーク開催

※入館料が必要です

作家たち 2018の

2018年 6月8日(金)～7月22日(日)

■開館時間 = 9:30～17:00 (入館は16:30まで) ■休館日 = 火曜日
■入館料 = 一般500円、小・中学生200円、団体 (20名以上) 各50円引 ※身障者割引あり

[同時開催]

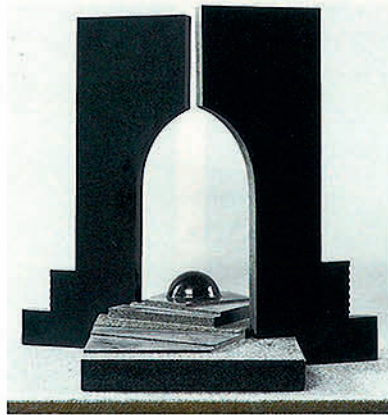
日本刀の変遷 ② 新刀・新々刀編

星と森の詩美術館

〒948-0101 新潟県十日町市稲葉1099-1
TEL 025-752-7202 FAX 025-752-7203
<http://www.hoshi-uta-m.jp>

2018年

6月8日(金)~7月22日(日)



野上公平 上段左:《行雲 No.1》2002 黒御影石・赤御影石 上段右:《街 No.13》2006 黒御影石・白御影石
青木三四郎 中段:《friends》2013 黒御影石・白御影石 下段:《MEMORY》2016 黒御影石・白御影石

1995年から2014年まで20年にわたり開催された「十日町石彫シンポジウム」の参加作家を紹介するシリーズ展も今年で5回目となりました。今回は、野上公平(1934-2015)と青木三四郎(1947-)の作品を展覽いたします。

野上は塩沢町(現 南魚沼市)に生まれ、教職の傍ら創作に励み、二科会や新潟県美術家連盟など県内外で活躍しました。十日町石彫シンポジウムには第1回に参加し、その後も地元作家の育成等多方面で活動を続けましたが、惜しくも2015年に逝去されました。今展は、初期木彫作品から展覽し、小さな遺作展といたします。

あわせて、子どもや動物たちが通わせるやさしい眼差しが魅力的な青木の作品も、石彫とテラコッタを交えて展覽いたします。工程のほとんどを機械を使わず自らの手で行うという作品には、ほのかなぬもりが感じられます。

それぞれの作品世界を、ぜひお楽しみください。

十日町石彫プロムナード 作家たち 2018の

[同時開催] 日本刀の変遷 ② 新刀・新々刀編

小展示室では、安土桃山時代末の慶長年間(1596~)から始まる新刀期、その後の江戸時代後期の天明年間(1781~)から明治9年(1876)魔刀令発布までの新々刀期に作られた刀剣10口を館藏品より展覽いたします。豊臣秀吉による天下統一が新時代をもたらし、刀工たちもまた賑わう城下町に集い共に腕を競いつつ独自の個性を表出させるようになりました。泰平の世を経て再び動乱へ向かう時代、刀剣の姿も変化していきます。

7月14日(土)14時より
青木三四郎さんと
藤巻秀正さんの
(彫刻家・元・十日町石彫シンポジウムコーディネーター)
ギャラリートーク開催
※入館料が必要です

星と森の詩美術館 ●開館時間=9:30~17:00(入館は16:30まで) ●休館日=火曜日
●入館料=一般500円、小・中学生200円 ※団体割引・身障者割引あり

〒948-0101 新潟県十日町市稲葉1099-1 TEL 025-752-7202 FAX 025-752-7203 <http://www.hoshi-uta-m.jp>

- [交通アクセス] ◆JR飯山線・ほくほく線「十日町駅」より車で10分
●関越自動車道「越後川口IC」よりR117経由25分 ●北陸自動車道「柏崎IC」よりR252経由50分
●関越自動車道「六日町IC」よりR253経由35分 ●北陸自動車道「上越IC」よりR253経由70分

